

非課税世帯の記入例

高校生等奨学給付金受給申請書

(申請基準日 令和2年7月1日)

申請書記入日 令和2年 月 日

宮城県知事 殿

私は、高校生等奨学給付金の支給を受けたいので、裏面の留意事項を承諾の上、宮城県国公立高等学校等奨学給付金支給要綱第5の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

※ はじめに、次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。
☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

区分	※全学年選択可		※新入生のみ選択可(年2回の申請が必要となります。)	
	☐ 生業扶助受給 ☒ 非課税 ☐ 家計急変		☐ 4月から6月相当額支給 ☐ 7月から翌年3月相当額支給	
フリガナ	ミヤギ タロウ		住所	〒 電話番号(022)
申請者氏名 (保護者等)	宮城 太郎		住所	宮城県 仙台市青葉区
高校生等との 関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人・その他()			
生業扶助の 受給に関する 誓約	※ 基準日現在、生業扶助を受給していない場合は、記名・押印してください。(スタンプ印は不可) 私の世帯は、基準日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による 生業扶助を受給していないことを誓約します。 申請者氏名 宮城 太郎			
家計急変の 状況 ※家計急変区 分で申請する 場合のみ	年収見込	続柄	家計急変前	家計急変後
			円	円
			円	円
	家計急変発生の日	令和 年 月 日	扶養人数	父・母・その他
	家計急変理由			

対象となる 高校生等	フリガナ	ミヤギ チョウナン	生年月日	昭和 平成 14年7月1日生	学校 記入欄	当該高校生等は、就学支援金等受給権者(見込者)であることを確認しました。 (学校担当者が確認印を押印する。)
	氏 名	宮城 長男				
	在学学校名			在学期間:	年 月 日 ~ 基準日	
	学校の種類等	高校 中等教育学校・高等専門学校 専修学校・各種学校・専攻科	通信制以外・通信制	学年	3 年	在学中に給付金を 受給した回数 回
	過去の 高等学校等における 在学期間等	学校名	学校の種類等	国公立・私立	通信制以外・通信制	在学 期間 ~ 年 月 日 在学中に給付金を 受給した回数 回・なし・不明

家 族 構 成	(父母等 保護者等 家計支持者)	対象となる高校生等との続柄	氏 名	学校記入欄 道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の課税状況等		
		父(親権者)	宮城 太郎	☐ 生業扶助受給者 ☐ 非課税 ☐ 非課税相当	☐ 証明書添付 または学校担当者確認印	
		母(親権者)	宮城 花子	☐ 生業扶助受給者 ☐ 非課税 ☐ 非課税相当	☐ 証明書添付 または学校担当者確認印	
		その他 ()		☐ 生業扶助受給者 ☐ 非課税 ☐ 非課税相当	☐ 証明書添付 または学校担当者確認印	
	扶養上 の家族 状況 (中学生を 除く)	15歳以上 23歳未満 の兄弟姉妹	続柄	氏 名 生年月日(年齢)	在学学校名・学年 または職業 ※正規雇用・正社員等で扶養親族である場合の手続きは、学校事務室にお問合せください。	
		兄 姉	宮城 長女 平成 9年7月3日生 (基準日現在 満 22歳)	学生生徒	パート・アルバイト(低収入) 無職	有・無
		弟 妹		学校名	※勤務先は記入不要	
				種別	高校・中等教育学校・高等専門学校 専修学校・各種学校・大学(院)	通信制以外 通信制
		兄 姉	宮城 二男 平成 16年7月4日生 (基準日現在 満 15歳)	学生生徒	パート・アルバイト(低収入) 無職	有・無
		弟 妹		学校名	仙台広瀬高校	国公立・私立
				種別	高校・中等教育学校・高等専門学校 専修学校・各種学校・専攻科・大学(院)	通信制以外 通信制

審 査 欄	国公立 ☐ 通信制以外 ・ ☐ 通信制	☐ 非課税 ☐ 生業扶助 ☐ 家計急変	☐ 第1子 ☐ 第2子以降	給付額 円	学校確認①	学校確認②	高校教育課